平成 30 年度勝田高等学校
学校コンプライアンス推進委員会活動報告

平成 3 1 年 2 月

茨城県立勝田高等学校 学校コンプライアンス推進委員会

平成 30 年度勝田高等学校学校コンプライアンス推進委員会活動報告

1 学校コンプライアンス推進委員会の概要

(1) 目的

学校コンプライアンスに関する研修等を通して、教職員のコンプライアンスに対する意識の高揚を図り、非違行為の根絶と服務規律の確保に努め、信頼される学校づくりを推進する。

(2) 組織

校長，教頭，事務長，教務主任，生徒指導部員，各学年副主任の校内委員 8 名に，外部委員として P T A 会長，同窓会長（学校評議員），弁護士，大学教員の 4 名を加え，計 12 名で構成する。

(3) 活動内容

ア 学校コンプライアンス推進委員会の開催

毎月の運営委員会終了後に開催する。年間研修計画を立案し，コンプライアンス講話及び事例研修会等を企画・立案をする。

イ コンプライアンス講話の開催

弁護士・大学教授等を講師として招聘し，服務規律の確保に係る研修会を開催する。

ウ 研修会の開催

コンプライアンス事例について小グループを編成して協議し，再発防止策等を検討する事例研修会等，若手や中堅の教員が自ら企画運営するボトムアップ型の研修を導入する。

エ コンプライアンスに関する情報提供

県のコンプライアンスだよりや新聞報道を用いた情報を教職員間で共有する。

オ 教職員の意識調査（アンケート）の実施

教職員の意識調査を実施して，教職員のコンプライアンスに対する意識の変容を確認する。

2 教職員が意識すべき行動指針

- ア サービス義務・公務員倫理の徹底
職務上の義務，身分上の義務，倫理意識を保持する。
- イ 人権の尊重
いじめによる人権侵害及び体罰を防止する。
- ウ ハラスメントの防止
セクシュアルハラスメント，パワーハラスメントを防止する。
- エ 情報管理の徹底
個人情報の適切な管理，公文書等の適切な管理を徹底する。
- オ 法令遵守による適正な職務遂行
法令遵守，事務処理のミスの防止，公金等の適正管理を徹底する。
- カ 交通法規の遵守
安全運転を励行するとともに，交通違反及び交通事故を防止する。
- キ 信頼される対応
すべての人に対して誠実で公平に対応する。

3 平成 30 年度の活動方針

- (1) 小グループを編成して協議する学校コンプライアンス研修会及びコンプライアンスに対する正しい理解のための学校コンプライアンス講話を実施する。
- (2) 担当部署が研修の企画立案を行い，ボトムアップ型の研修会を実施する。

4 各活動の報告

(1) 学校コンプライアンス推進委員会

	月 日	主 な 内 容
第 1 回	4/26(木)	年間活動計画について ・ 年間活動計画の検討
第 2 回	5/11(金)	年間活動計画について ・ 研修会の検討
第 3 回	6/ 6(水)	平成 30 年度年間活動計画について (外部委員参加) ・ 年間活動計画の報告
第 4 回	6/15(金)	学校コンプライアンス研修会①について ・ 実施要項の検討
第 5 回	7/9(月)	第 1 回教職員意識調査 (アンケート) について ・ アンケート集計結果の確認
第 6 回	9/19(水)	いじめ未然防止教員研修について ・ 運営の検討
第 7 回	10/17(水)	情報セキュリティ研修・人権教育研修について ・ 運営の検討

第8回	11/15(木)	学校コンプライアンス研修会②について ・実施要項の検討
第9回	12/21(金)	第2回教職員意識調査(アンケート)について ・アンケート集計結果の確認
第10回	1/21(月)	今年度の活動まとめ ・今年度の反省と課題 ・学校コンプライアンス推進委員会報告について
第11回	2/15(金)	平成30年度年間活動報告について(外部委員参加) ・年間活動の報告

(2) 研修会

月 日	内 容	担当
7/4(水)	学校コンプライアンス研修会① 内容：事例研修(事例について班別協議及び発表) 第1回教職員意識調査(アンケート)の実施	1学年 3学年
12/19(水)	学校コンプライアンス研修会② 内容：「ベテラン教員研修講座」伝達講習 事例研修(事例について班別協議及び発表) 第2回教職員意識調査(アンケート)の実施	2年 生徒指導部

(3) 研修会の報告

ア 第1回研修会「学校コンプライアンス事例研修」

○日 時 7月4日(水)13:30~14:30

○会 場 本校会議室

○参加者 教職員33名

○担 当 1・3学年

○概 要

参加教職員が5名程度の班に分かれ、過去の非違行為及び服務規律違反事例について、事例の分析(原因、問題点、影響など)、再発防止(未然防止)のポイントを協議して発表する研修を実施した。

○研修内容

- ・過去の非違行為及び服務規律違反を確認する。
- ・非違行為及び服務規律違反の問題点、原因を考える。
- ・非違行為及び服務規律違反による生徒・保護者・学校・地域・自分の家族への影響を考える。
- ・非違行為及び服務規律違反の予防策について考える。(自分の職場から不祥事を出さないために、また、教員がメンタルヘルスを保つことでコンプライアンスを遵守していくためにどのような職場づくりを進めれば良いか。)

イ 第2回研修会「ベテラン教員研修講座伝達講習・事例研修」

○日 時 12月19日(水)15:50~16:40

○会 場 本校会議室

○参加者 教職員30名

○担 当 2学年, 生徒指導部

○概 要

「ベテラン教員研修講座」伝達講習を実施。参加教職員が4名程度の班に分かれ、教職員の信用失墜行為事例の概要と問われる責任、教職員の生活設計について学ぶとともに、学校の危機管理のポイントについて協議して発表する研修を実施した。

○研修内容

- ・教職員の信用失墜行為事例の概要と問われる責任
- ・教職員の生活設計
- ・学校の危機管理
事例協議(運動会で)

(4) その他の研修会

月 日	内 容	担当
7/ 2(月)	教育相談研修 講師：スクールカウンセラー 深谷 佳子 先生 内容：いじめ問題が深化する前に相談できる信頼関係づくり「SNSトラブルへの対応を考える」	教育相談室
10/17(水)	いじめ未然防止教員研修 内容：いじめ未然防止教員研修会伝達講習	いじめ防止 対策会議
11/26(月)	人権教育研修 内容：人権教育伝達講習	教務部
1/23(水)	情報セキュリティ研修 内容：情報資産の適正な管理の徹底について 勝田高等学校学校情報セキュリティ実施手順 (30年度改訂) についての研修	教務部

5 成果と課題

ア 小グループを編成して協議する学校コンプライアンス研修会、コンプライアンスに対する正しい理解を深めるための伝達講習を実施することができた。

イ 小人数グループによる事例研修を実施したことにより、他人事ではなく、自分自身の問題として真摯に受け止めることができた。

ウ 事例として具体的に取り上げられている問題について真剣に考え、教職員としての倫理観を高めながら、信頼される学校づくりを推進することができた。

- エ 担当部署が研修の企画立案を行い、ボトムアップ型の研修会を実施することができた。
- オ 定期的にコンプライアンスに関する情報を職員間で共有したことで、教職員のコンプライアンス意識の高揚を図ることができた。
- カ 教職員は高い規範意識が求められ、それに伴う責任が増大しているとの理解を深化させることができた。
- キ 教職員としての自覚だけではなく、職場の仲間の共通認識が大切であり、教員間のコミュニケーション及び職場の雰囲気良好であることの重要性について再確認をすることによって、信頼される学校づくりに対して、全職員で協働して当たる意識の醸成ができた。
- ク 様々な課題について自分たちの問題として受け止め、主体的に意見を出し合って検討できる体制を構築していくために、今後も若手や中堅の教職員が自ら企画運営をするボトムアップ型研修会等の実施を推進する必要がある。
- ケ 研修の企画について、教職員の負担感が増加しないように配慮し、適切な実施計画に基づいて行うことが必要である。

6 教職員意識調査（アンケート）結果（回答方法はすべて記述式です。）

(1) 第1回教職員意識調査（アンケート）

ア 実施時期 平成30年7月

イ 回答者数 33人

ウ 質問1と回答

○質問1

「事前チェックシートを通じて自分自身でどの分野について意識が足りないと気づきましたか。具体的にお書きください。」

○回答

メンタルヘルス(心身の健康増進につながる取組等)	12人
私費(部費やクラス費等)の取り扱いのダブルチェック体制	9人
仕事に追われ体調管理について不安	5人
生徒指導の際に複数の教職員であたること	3人

エ 質問2と回答

○質問2

「その他、ご意見・ご要望を自由に書いてください。」

○回答

研修会を通じ、定期的に情報チェックすることは重要	2人
登校指導やその他の仕事で時間を取られ、授業の準備は土日を含めほぼ毎日自宅で行っている。	1人

オ 回答結果から

- ・コンプライアンスについて、教職員各自が意識の不足している分野に気づくことができた。

(2) 第2回教職員意識調査（アンケート）

ア 実施時期 平成30年12月

イ 回答者数 31人

ウ 質問1と回答

○質問1

「本日の研修の感想をお聞かせください。」

○回答

ライフプランの話は新鮮で大変参考になった	10人
信用失墜行為の防止に対して、意識を高めることができた	9人
危機管理意識を向上させることができた	3人

エ 質問2と回答

○質問2

「研修を通して、コンプライアンス意識は、どのように変わりましたか。」

○回答

コンプライアンスの遵守が大切であると思いを再認識した	12人
危機管理の大切さ、予防や対応策を知っておく必要がある	6人
ライフプランを立てることで意識が高まった	3人
自分だけでなく、家族への影響も考えることができた	3人

オ 質問3と回答

○質問3

「今後どのような研修を行うと良い(行いたい)と思いますか。アイデア・プランを書いてください。」

○回答

講演会（弁護士など専門家の方の講話）	3人
ロールプレイ（こういう場面ではどう対応すべきかなど）	2人

カ 回答結果から

1年間の学校コンプライアンス研修を実施したことにより、教職員のコンプライアンス意識を深化させることができた。